

介護給付適正化事業における事業別取組実施項目表

R3～5年度

基本体制		主要5事業等（※3事業を実施）								
	(基本となる体制) 介護給付適正化 対策の推進体制	1 要介護認定の適正化		2 ケアプランの点検 (必須項目)	3 住宅改修等の点検		4 縦覧点検・医療情報との突合 (必須項目)		5 介護給付費通知	6 給付実績の活用
		①認定調査 (事務組合実施も含む)	②介護認定審査会		① 住宅改修の点検	② 福祉用具購入 ・貸与の点検	①縦覧点検	② 医療情報との突合		
第5	☆ 取組結果の検証・評価に基づき、介護支援専門員やサービス事業所職員などによる意見や情報交換の場がある。	地区別研修以外に、勉強会・連絡会議などを開催し、調査員が抱える課題の解決や、分析により把握された課題を、調査員と市町村等が共有し解決する機会を設けている。	地区別研修以外に、委員研修・標準化研修・合議体間の連絡会議などを開催し、分析により把握された課題を、審査会委員と市町村等が共有し解決する機会を設けている。	☆ ケアプラン点検の実施により積み上げられた成果を、介護支援専門員研修会や地域ケア会議に活用している。	点検の実施による成果を介護支援専門員研修会等で周知する。	点検の実施による成果を介護支援専門員研修会等で周知する。	分析結果や個別・集団指導の内容をもとに、介護支援専門員の研修会や地域ケア会議等の議題としている。	分析結果や個別・集団指導の内容をもとに、介護支援専門員の研修会や地域ケア会議等の議題としている。	☆ 適切なサービスの利用と提供について事業者の協力と理解を求め、事業者や介護支援専門員へ周知する。	給付実績を分析した結果を、介護支援専門員の研修会や地域ケア会議等での議題としている。
第4	☆ 取組結果の検証・評価に基づき、目標等の再構築や取組の改善を図る仕組みがある。	分析結果を、調査員や関係者（所属内職員、事務組合、審査会委員など）へ研修会等において周知している。	分析結果を、審査会委員や関係者（所属内職員など）へ研修会等において周知している。	☆ ☆保険者において介護給付適正化以外の部署や、主任介護支援専門員や介護支援専門員などの多職種専門職が加わったチームによる点検の体制がある。	点検の結果を介護支援専門員及び事業者へ指導し、情報交換を行う場を設けている。	点検の結果を担当介護支援専門員及び福祉用具事業者に指導し、情報交換を行う場を設けている。	請求内容の誤り等の分析結果をふまえ、事業所の集団指導を実施している。	医療と介護の重複請求等の分析結果をふまえ、事業所の集団指導を実施している。	☆ 適切なサービスの利用と提供の普及啓発や適正な請求に向けた抑制効果を期待できる対象を絞り込み、通知している。	不適切な給付や事業者の発見等の分析結果をふまえ、事業所の集団指導を実施している。
第3	☆ 国・実施状況調査結果や見える化システム等を基に、取組の検証・評価を行っている。	☆ 認定調査項目別の選択状況について、業務分析データを活用し、全国の保険者と比較した分析を行っている。	☆ ☆次判定から二次判定の軽重度変更率について、地域・審査会・合議体によって差がないかを分析している。（分析内容を保険者と事務組合が共有している。）	☆ ★ 国の「ケアプラン点検支援マニュアル」を活用又は加工したり、独自のケアプラン点検シートを作成するなど、状況に合った方法で点検を行っている。	☆ ★ 建築専門職や、理学療法士、作業療法士等のリハビリテーション専門職種等の協力を得て点検している。	★ 地域ケア会議の構成員としてリハビリテーション専門職を配置し、会議の際に福祉用具貸与計画と合わせて点検を行う。	請求内容の誤り等の分析結果をふまえ、事業所の個別指導を実施している。	医療と介護の重複請求等の分析結果をふまえ、事業所の個別指導を実施している。	☆ 受け取った受給者が通知内容を理解できるように、通知内容の説明文書やQ&A、自己点検リストなどを同封している。	不適切な給付や事業者の発見等の分析結果をふまえ、事業所の個別指導を実施している。
第2	☆ 適正化の目標達成状況等の結果を、ホームページや広報誌等で住民へ公表している。	☆ 調査内容について、基本調査（項目・群）、特記事項、主治医意見書に矛盾がないかを書面又は訪問等で点検している。（事務組合が実施している場合は、その結果を把握している。）	定期的に合議体に所属する委員を変更している。	☆ 全ケアプラン数に対する点検件数の割合を増加させるため、国保連適正化システムを活用しながら重点的に取り組む対象を設定するなど、目標値を立てて取り組んでいる。	☆ ★ 訪問により、工事施工前に受給者宅の実態確認、工事施工後の施工状況等を点検している。	☆ ★ 理学療法士、作業療法士等のリハビリテーション専門職種等の協力を得て、訪問調査を行い、福祉用具の必要性や利用状況を確認している。	特定の4帳票の縦覧点検の結果をもとに、給付誤りや不適正な請求等の偏りを分析している。	「医療情報との突合」帳票のチェック結果をもとに、給付誤りや不適正な請求等の偏りを分析している。	☆ 要介護（要支援）認定の更新・変更の時やサービスを見直す時期など、適切且つ効果的な時期を検討の上通知している。	特定のサービスの利用動向について、確認・分析するとともに、情報を蓄積し、サービス利用の傾向分析をしている。
第1	☆ 国・実施状況調査結果や見える化システム等を活用し、実施目標を策定している。	訪問調査は、認定調査員研修を修了した者が実施している。（直営の場合） 専門的な知識を有している市町村職員（委託の場合） 介護支援専門員	委員は、保健・医療・福祉に関する学識経験を有する者が任命され、審査会委員研修を修了した者が従事している。	☆ 自立支援に資するケアマネジメントを支援するため、介護支援専門員とともに基本となる項目（国マニュアル参照）を確認検証し、気づきを引き出すことを目的としていることを共有している。	☆ 書面により、工事施工前に工事見積書の点検、工事施工後に竣工写真等により施工状況等を点検している。	☆ 福祉用具事業者や介護支援専門員へ聞き取りを行い、福祉用具の必要性や利用状況を確認している。	☆ ★ 点検を行っている。（国保連に委託している場合も含む。）	☆ ★ 突合を行っている。（国保連に委託している場合も含む。）	☆ 通知している。	日常業務において、給付実績を会議等資料の作成に活用している。 個別の問題に対処するために活用している。

【この表の使い方】

- ・主要5事業等それぞれについて、段階的に取り組めるよう取組内容を5つに分けて記載しています。
- ・☆印は「介護給付適正化計画に関する指針」、★印は「保険者機能強化推進交付金に係る評価指標」に記載されている項目に該当していることを示します。

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-① 要介護認定の適正化（認定調査）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
適切かつ公平な要介護認定等の確保を図るため、認定調査票等の点検を行います。また、分析データを活用して、一次判定から二次判定における各差等について分析を行い、平準化に向けた取組を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
認定調査等の点検件数		全件		全件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	○	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
認定調査等の点検件数		認定調査票及び主治医意見書は、事前に全て点検を行うことで、審査判定の適正化が図られている。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
認定調査等の点検件数		認定審査会での疑義の減少や審査判定の適正化のため、今後も継続して全件点検に取り組んでいく。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	○
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
認定調査票等の点検件数		全件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-② 要介護認定の適正化（審査会）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
分析データを活用して、一次判定から二次判定における各差等について分析を行い、平準化に向けた取組を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
分析データを活用した分析回数		年1回		年1回
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	○	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
分析データを活用した分析回数		一次判定から二次判定の軽重度変更率等について、合議体によって差がないか等の分析している。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
分析データを活用した分析回数		軽重度率等の分析など分析項目の増加を図る。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
研修会受講		1回		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

事業項目				
2 ケアプラン点検				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
第三者が点検及び支援を行うことにより、個々の受給者が真に必要とするサービスを確保するとともに、その状態に適合していないサービス提供を改善するため、地域包括支援センターの主任介護支援専門員と連携して、ケアプランの確認検証に取り組みます。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
ケアプランの点検件数		25件		44件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	○	○
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
ケアプランの点検件数		専門職等の意見を頂いた。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
ケアプランの点検件数		点検の質を高めるためにも、専門的な知識を得るべく研修の受講等を行う		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	○
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
ケアプランの点検の実施		20件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-① 住宅改修等の点検（住宅改修の点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
住宅改修の施行前に受給者宅の実態確認を行い、不適切または不要な住宅改修を排除する取組を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
住宅改修の現地点検件数		3件		0件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
住宅改修の現地点検件数		新型コロナウイルス感染症の影響のため、窓口での申請時の点検を強化した。引き続き申請時の点検等を実施する。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
住宅改修の現地点検件数		現場での点検が難しいため、事前資料等により意見を介護支援専門員へ行う。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
住宅改修等の点検件数		20件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-② 住宅改修等の点検（福祉用具購入・貸与の点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
訪問調査により、必要性や利用状況等の点検により、不適切または不要な福祉用具購入・貸与を排除する取組を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
福祉用具購入・貸与点検件数		3件		0件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	○	○
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
福祉用具購入・貸与点検件数		新型コロナウイルス感染症の影響のため、訪問調査を行うことができなかった。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
福祉用具購入・貸与点検件数		訪問調査等が難しいため、福祉用具購入申請時に身体状況や福祉用具専門員の意見を参考に確認をおこなう		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	○	○
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
福祉用具購入・貸与を介護給付適正化システムを活用し、効果等が期待される帳票を優先して調査を行う。		10件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
4-① 縦覧点検・医療情報との突合（縦覧点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
縦覧点検については、受給者ごとに複数月にまたがる介護報酬の支払状況を確認し、提供されたサービスの整合性、算定回数・算定日数等の点検を行い、請求内容の誤り等を早期に発見して適切な処理を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
縦覧点検の件数		全件		全件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
縦覧点検の件数		提供されたサービスの整合性について確認を行うことで、適切な介護報酬の請求に繋がった		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
縦覧点検の件数		事業所等への照会が行えた		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
縦覧点検の件数		全件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
4-② 縦覧点検・医療情報との突合（医療情報との突合）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
医療情報との統合については、入院情報と介護保険の給付情報を突合し、給付日数や提供されたサービスの整合性の点検を行い、医療と介護の重複請求の排除等を図ります。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
医療情報との突合件数		全件		全件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
医療情報との突合件数		請求内容等に過誤等あり、継続して医療情報との突合をして、医療と介護の重複請求の排除を行なった。		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
医療情報との突合件数		重複請求等の分析結果を展開できていない。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
医療情報との突合件数		全件		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
 （介護給付適正化事業）

事業項目				
5 介護給付費通知				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
受給者等へ介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知し，介護支援専門員と連携して，受給者や事業者に適切なサービスの利用と提供の普及啓発に取組みます。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
介護給付費の通知件数		全件		全件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	○	○
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
介護給付費の通知件数		受給者すべてに通知している。		
0				
5 前年度の課題，改善すべき点等				
介護給付費の通知件数		死亡者分の相続人宛先の確認に時間がかかった。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
取組予定なし				

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
6 給付実績の活用				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
給付実績を会議等資料に活用する		-		-
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
給付実績を会議等資料に活用する		会議等に必要時に作成している		
0				
5 前年度の課題、改善すべき点等				
給付実績を会議等資料に活用する		資料必要時のみ作成している。		
0				
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
給付実績を会議等資料に活用する		-		

R5年度介護給付適正化事業実施の有無

1 要介護認定の適正化

実施した

※認定訪問調査を直営化しておらず、かつ、更新認定、変更認定に係る委託訪問調査の事後点検を実施していない場合は「未実施」を選択。

2 ケアプランの点検

実施した

3 住宅改修の点検

実施した

※施行前もしくは施工後の点検を実施した場合は、「実施した」を選択。

4 福祉用具購入・貸与調査

実施した

※購入もしくは貸与調査を実施した場合は、「実施した」を選択。

5 医療情報との突合

職員が実施＋国保連委託

6 縦覧点検

職員が実施＋国保連委託

7 介護給付費通知

実施した

※本調査は、国適正化実施状況調査を参考に作成。
そのため、R5国適正化事業実施状況調査の結果と一致する予定。